

# 平成 27 年度 東北ブロッククラブネットワークアクション 2015

## 開催報告

日時：[第1日目] 平成 27 年 11 月 7 日（土）13:30～17:30

[第2日目] 平成 27 年 11 月 8 日（日）09:00～12:00

会場：岩手大学 学生センターA 棟 G2 大講義室(2階)ほか

内容：

[1日目]

- ① 開会行事：挨拶、主旨説明、情報提供
- ② 話題提供：クラブ運営について「ちょっと一言いわせて！」
  - (1) うまくいっているクラブ  
スポーツコミュニケーションかくだ クラブマネジャー 遠藤 良則
  - (2) 一時期危なかったが、乗り越えたクラブ  
ふじしまスポーツクラブ 会長 丸山 鎮
  - (3) いまは困っているけど、見通しがあるクラブ  
NPO 法人スポカルきみまち 理事兼クラブマネジャー 藤田 弘子
  - (4) 様々な課題を抱えているクラブ  
FULLSPO クラブマネジャー 矢内 千賀子
- ③ フロアディスカッションと質疑応答
- ④ スポーツ体験会
  - ・スポーツ吹矢
  - ・室内雪合戦
  - ・キンボール
  - ・ユニカール
  - ・玉入れタイムレース

[2日目]

- ① 状況報告：各県の総合型クラブの状況等について
- ② グループワーク：フリーディスカッション
- ③ 閉会行事：まとめ、挨拶

### 【概要】

ブロック内の総合型クラブの『現状』と『課題』の情報共有を行い、今後のクラブ運営のヒントを探ると共に、総合型クラブ間の交流を図ることを目的に開催しました。

1日目は、東北ブロック内の4つのクラブが話題提供を行い、それを受けてフロアディスカッションを実施しました。また、後半は岩手県内の総合型クラブで実際に行っているスポーツ活動の体験を行いました。

2日目は、各県担当者が東北各県の総合型クラブの状況を発表し、最後に全体を受けてグループワークを行いました。

## 【内容】

[1日目]

### 【話題提供】

4つのクラブがクラブ運営について話題提供を行いました。これまで多く行われていた成功事例ではなく、各ケースに当てはまるクラブからの発表ということで、発表者と参加者の目線が同じく、共感できる部分が多くありました。また、クラブの規模や内容（現状や課題）も全てのクラブでどこかで共通している部分があり、今後のクラブ運営上の参考となりました。



### 【フロアディスカッション】

話題提供を行った4つのテーマに分かれて、フロアディスカッションを行いました。同じような課題を抱えている参加者が多かったことから、各フロアとも熱のこもった質疑応答が行われました。また、発表者だけではなく進行を担当したアドバイザーからもアドバイスや情報提供を行いました。

### 【スポーツ体験会】

5種目がブースに分かれ、参加者は好きなところに行き、自由に体験を行いました。これまで、体験したことのない種目も多かったようで、クラブの活動に取り入れたいとの意見も聞かれました。また、「玉入れタイムレース」は、NPO法人総合型りくぜんたかた（陸前高田市）が考案した種目であり、仮設住宅団地でも行っており、場所も時間も取らずに楽しめる種目となっています。





[2日目]

**【状況報告】**

各県の総合型クラブの状況報告を行いました。それぞれの県の特徴的な総合型クラブに係わる話題を話していただく一方で、課題についてはアフターtoto や自立に向けてといった共通の話題が多く見られました。また、クラブ同士の協働や連携の事例なども報告され、今後はこれまで以上にクラブ同士の繋がり、特に連絡協議会をはじめとする、クラブ間ネットワークが重要となってくるとのことでした。

**【グループディスカッション】**

テーマをフリーにしてグループディスカッションを行いました。1日目の話題提供、2日目の状況報告を受けて、グループワークを行ったことで、各クラブの課題等が明確になり、より密度の濃い話しが行われていました。



## 【まとめ】

東北ブロッククラブミーティング（東北ブロッククラブネットワークアクション）の主催に SC 全国ネットワークが加わってから、これまで東北 6 県で開催してきており、今回の岩手県での開催が 2 順目のスタートとなりました。

これまで 6 年間の事業と比較しても、いい意味で落ち着いた内容となり、事例発表、グループワークともに現実に即した話し合いが行われ、これからのクラブをどのように運営していくかをより考える機会となりました。クラブ同士の連携、ネットワークの構築もキーワードとして出てきており、各クラブの自立した運営とともにネットワークを活用した新たな展開にも期待していきたいと思えます。

地域の信頼、会員の信頼こそが、継続的な収入となり、持続可能なクラブとなることを願います。

東北ブロッククラブネットワークアクション 2015

実行委員長 高橋 三郎